



いのち

平成31年 1月 7日 第55号
日立メディカルセンター看護専門学校
日立市高鈴町 1丁目 4番10号

平成最後のご挨拶

学校長 末永 仁

明けましておめでとうございます。

平成31年の幕が開けました。5月から年号がどう変わるのかはわかりませんが、明治のM、大正のT、昭和のS、平成のH以外の頭文字で始まることは確実です。ですから、アルファベットで考えてみると、上記以外に可能性が低いものとしてF、I、L、O、P、Q、V、X、Zなどが挙げられます。さあ、新しい時代はどのような年号になるのでしょうか？

新しい時代といえば、今年は我々にとって非常に大切な、重要な意味を持つ一年になります。2020年の新課程開設への最後の準備の一年であり、一方で中止する現行制度での卒業生全員合格に向けての一年でもあります。一昨年、日鉦記念病院の長南先生のご提案で始まった国家試験再挑戦プログラムは、昨年12月に看護学校が主催する形で第2回目が行われました。一人でも多く合格してほしい、もし失敗しても再挑戦を諦めないでほしい、といった地域の医師の希望と想いを卒業生、現役学生は感じてくれたのではないのでしょうか？特別授業を受け持って下さった先生方にはここに改めて御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

看護科3年生は来たる国家試験に向けて、また、准看護学科2年生は准看護学科最後の卒業生として資格試験受験に向けて精一杯努力している頃だと思えます。その努力が報われるよう、学校も精一杯協力していきたいと思えます。まずは体調管理に十分気を付けて実力を存分に発揮し、全員合格を心から祈っております。





『ミュージカル鑑賞』

看護学科1年生

ミュージカルの「ライオンキング」に流れるテーマは「サークル・オブ・ライフ(生命の連鎖)」であり、巡り巡る生命の繋がりの大切さや全ての生物は恵を与えられて生かされていることに繋がる。それゆえに生命とは尊いものであり、大切なものである。

ミュージカルは、壮大で歌や踊り、細部に渡る個々の演者の力が冴え、全体の構成、演出には迫力があり魅了された。

心に残るシーンでは、王子の誕生を祝うシーン。王や全ての動物達が喜びたたえ、希望や夢、一人一人が持つ幸福への願いを表現する。また、主人公のシンバが自分のせいで父が死んだと思込み群れを離れ出会った友とのシーン。悲しみに包まれるシンバに、「ハクナ・マタタ(くよくよするな)」、過去に背を向けてもよいと励まされ立ち直っていく。自分にも意味のある言葉だった。前に進むための願いや勇気、覚悟といったもの。心掛けなければいけないと思えた。やがてシンバは、幼なじみのナラと再会し、過去に向き合う覚悟や強さ、王国を再建する決意を持って成長する。仲間や周りの支えがあってこそ勇気づけられ、たくましさを増した。過去に背を向けることも向き合うことも大切なことで、どう道を切り開いていくか、信念を持って進むことが人生を生きること、尊い命を大切に生きることのように思えた。

周囲への感謝の気持ちを持って、争うことなく仲良く、心豊かに生きること。王が「世の中は、微妙なバランスでできている」と話した。人も微妙なバランスを保ち生きること、生き方や物事の捉え方、考え方、そして楽しみ方を教えて貰ったように思う。人は様々なものに支えられ生きている。出会いを大切に、支えられるような力が付けられるよう看護の道を学んでいきたい。



『2日間のグループ行動をして』

看護学科1年生



2日間の研修旅行でのグループ行動を通して、信頼関係を構築する事の大切さ、チームワークの重要性を改めて実感しました。グループで行動するという事は、独りよがりな考えは通用せず、仲間と意見を交換しながら協調性を持つ事です。お互いが信頼しあっていれば、相手の意見を受け入れやすいという事もあります。

今回、グループ行動は、1日目のホテルに到着してからの3時間程と、2日目の劇団四季鑑賞前の2時間程でした。研修旅行前に大まかな予定は立てていましたが、1日目については、道路の混雑状況によりグループ行動の時間が減り、予定を変更せざるを得ませんでした。予期せぬ事態でしたが、気心知れている4人なので、すぐに意見がまとまりました。浅草方面まで行けなかったことは残念でしたが、近場で美味しい食事を楽しむことができました。2日目については、情報収集不足で時間のロスがあり、計画を練ることの重要性を実感しました。しかし、そんな中でも急遽決めた事が実行に移せ、結果的にリラックスした至福のひとときを過ごすことができたので、満足しています。この日は2人で行動しましたが、それも朝からお互いの行いたい事が一致し実現したものであり、信頼しているからこそ突然の事にも対応できました。この関係ができていなければ、お互いに遠慮してただ時間だけが過ぎていくか、どちらか一方が我を通し片方は満足できない時間を過ごすかになってしまうと思います。

よき友、よき仲間を持つ事はとても大切な事です。時間をかけなければ信頼関係を構築する事はできませんが、その関係が作れた時、どんな時もお互いに支え合い、助け合う事ができます。私たちには、この先「実習」という大きな試練が待ち構えています。仲の良い友だちや似たような価値観の人と同じグループであれば、滞りなく実習を進める事ができると思うので有難いですが、より多くのクラスメイトと信頼関係を作り上げ、お互いに支え合っていけたらと思っています。今後、沢山のグループワークがあるかと思いますが、一人一人の意見を尊重し、理解し合えたら嬉しいです。

